



どうし 動詞の進行形「～している」

この課では「食べている」「歌っている」「行っている」など、動作が進行していたり、状態が継続していることを表す言い方を学びます。

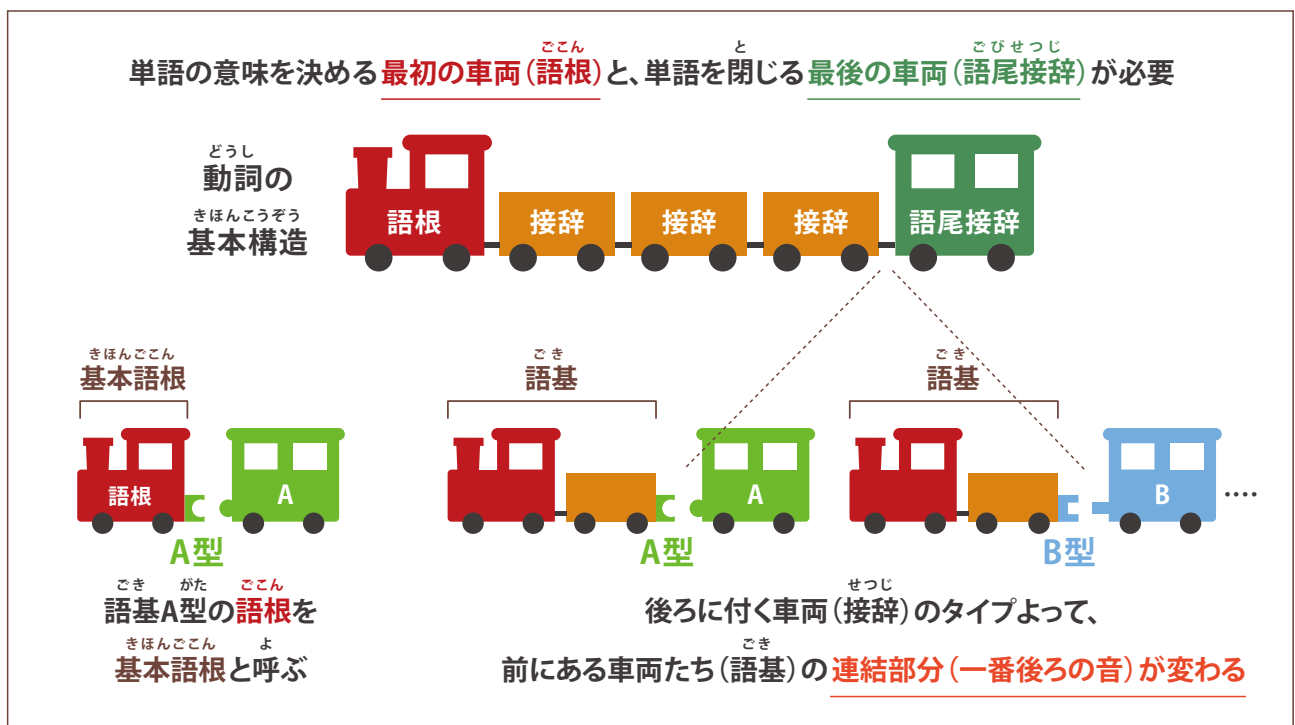
ポイント

どうし 動詞の進行形「～している」は、動詞の語基(C型)に、進行接辞 $-u^1$ を付ける。

1 動詞の基本構造 (3-5「動詞の基本構造」参照)

どうし 動詞を列車にして説明します。どうし 動詞は、単語の意味を決める機関車(語根)に、様々な意味を持つ、ふぞく 付属の車両(接辞)が付いて作られます。列車が走るためには、最初の機関車(語根)と、単語を閉じられる、最後の車両(語尾接辞)が必要です。

ある車両(接辞)の前にある車両全体を、その接辞に対する「語基」と呼びます²。後ろに付く車両(接辞)のタイプによって、前にある車両たち(語基)の連結部分(一番後ろの音)が変わります。このように、変化する語基のタイプには、A型(基本形)、B型、C型の3種類があります。語基A型の語根を「基本語根」と呼びます。

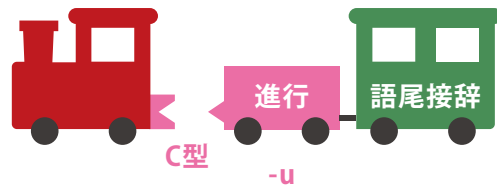


¹ - は接辞のマークです。

² 語根に直接、語尾接辞が接続する場合には、語基＝語根になります。2以降の説明は、すべて語基＝語根ですので、語基と語根を読みかえても大丈夫です。

2 進行形「～している」

進行接辞 ^{せつじ}-u は語基 (C型) に接続し、後に語尾接辞 ^{ごびせつじ}がついて動詞 ^{どうし}が完成します。



以下は、^{くんじやいむに}国頭方言を例に説明します。^{くんじやいむに}国頭方言の語基C型は表の通りです。例えば「書く」の^{きほんごこん}基本語根は **hak**³ です。「書いている」と言いたい時、**hak** の語基C型 (**hach**) に進行接辞 ^{せつじ}-u と直説接辞 ^{ちよくせつせつじ}-N が接続して **hach-u-N** 「書いている」⁴ となります。また「食べる」の^{きほんごこん}基本語根は **kam** です。「食べている」と言いたい時、**kam** の語基C型 (**kad**) に進行接辞 ^{せつじ}-u と直説接辞 ^{かどうん}-N が接続して **kad-u-N** 「食べている」となります。

語基の変化(国頭方言)

語基のタイプ	① 母音 終わり	② s 終わり	③ k 終わり	④ t 終わり	⑤ g 終わり	⑥ n 終わり	⑦ m 終わり	⑧ b 終わり
例	abi 「呼ぶ」	nas 「産む」	hak 「書く」	mat 「待つ」	uig 「泳ぐ」	sin 「死ぬ」	kam 「食べる」	asjib 「遊ぶ」
語基 A (基本形)	母音	s	k	t	g	n	m	b
語基 B	母音	s	c	c	z	n	m	b
語基 C	母音 t	ch	ch	ch	j	j	d	d

³ 語根だけの形を、ななめ文字で表します。語根だけでは単語は成り立ちません。

⁴ cyu と chu は「チュ」と読んでください。

3 発音してみよう

進行形は、動詞の基本的な形の1つなので、色々な動詞を実際に発音してみましょう！

<p>あびとうん abit -u-N 呼ぶ - 進行 - 直説 よ 「呼んでいる」</p>	<p>なちゅん nach -u-N 産む - 進行 - 直説 「産んでいる」</p>	<p>しじゅん sij -u-N 死ぬ - 進行 - 直説 「死んでいる」</p>	<p>はちゅん hach -u-N 書く - 進行 - 直説 「書いている」</p>
<p>まちゅん mach -u-N 待つ - 進行 - 直説 「待っている」</p>	<p>ういじゅん uij -u-N 泳ぐ - 進行 - 直説 「泳いでいる」</p>	<p>かどうん kad -u-N 食べる - 進行 - 直説 「食べている」</p>	<p>あしどうん asid -u-N 遊ぶ - 進行 - 直説 「遊んでいる」</p>

練習問題

前の説明を参考に、次の動詞の進行形を予想して書いてみましょう。

(1) **nibu** 「眠る」 → () 「眠っている」

(2) **hurus** 「殺す」 → () 「殺している」

(3) **ak** 「歩く」 → () 「歩いている」

(4) **tat** 「立つ」 → () 「立っている」

(5) **fuug** 「(船を)こぐ」 → () 「(船を)こいでいる」

(6) **num** 「飲む」 → () 「飲んでいる」

(7) **tub** 「飛ぶ」 → () 「飛んでいる」